

# 「認知症の人と家族を支える地域づくり」の普及拡大について

## これまでの取組と成果

### 認知症生活支援モデル事業

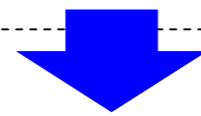
- ◆認知症地域資源ネットワークモデル事業  
・平成19・20年度 練馬区、多摩市
- ◆認知症支援拠点モデル事業  
・平成19・20年度 5事業者

### 仕組み部会の成果

- ◆「認知症の人と家族を支える地域づくりの手引書」の発行（平成23年3月）
- ◆認知症地域支援ネットワーク事業（包括補助事業）  
平成21年度～ 実施主体：区市町村

### 区市町村が実施している様々な取組

- ◆医師による相談事業（心の相談、物忘れ相談等）
- ◆徘徊高齢者捜索システム費助成事業（GPS、PHS端末機）
- ◆認知症予防事業（講演会、講座等）



### 現状と課題

- ◆都がこれまで構築した事業や理論が、実際に区市町村で活用されるよう、実効性のある区市町村支援策を展開していかなければならない。
- ◆しかし、これまで都が示してきた認知症支援策が区市町村に十分に活用されていない。  
→ 包括補助事業利用実績  
平成21年度 4区市 / 平成22年度 2区市 / 平成23年度 3区市  
(活用されない理由)
  - ・「ネットワーク会議」の設置が必須
  - ・「地域資源マップの作成」、「徘徊SOSネットワークの構築」の継続した取組
  - ・核となる区市町村職員の意識の差
  - ・補助率が1/2
- ◆区市町村では、様々な事業が行われているが、地域の認知症支援ネットワークとして、参考となる取組を普及させる必要がある。



### 普及拡大に向けて

- ◇参考となる認知症支援ネットワークの事例紹介
- ◇現在の「認知症地域支援ネットワーク事業」が活用されていない要因分析  
⇒多くの区市町村で活用できる補助制度の再構築の検討など

